

議題提案書

1 基本情報

議題種別	協議事項
議題名	N 連の今年度の状況と来年度の実施について
提案者の氏名	今西浩明
提案者の所属	NGO 側連携推進委員会
提案者の役職	連携推進委員

2 議題提案の背景

N 連は NGO が外務省と連携する上で、最も重要かつ予算が大きいプログラムである。ここ数年の N 連の新規申請案件数の増加とそれに対する N 連の予算不足に対して、N 連タスク等を通じて様々な施策や対応も行ってきた。

国際協力において NGO は戦略的パートナーとして位置付けられており、その中で、N 連は外務省と NGO の連携の実施における最大のプログラムであるといっても過言ではない。その効果的な実施と促進は外務省・NGO の連携における最重要課題のひとつであり、今年度の実施状況を確認し、課題の共通認識を図り、今後の取り組みについて意見交換、議論をすることが、次年度の N 連を通じた更なる連携の強化に資するものとなることを期待したい。

3 議題の論点（連携推進委員会で議論したい点）

今回、議論したいのは以下の 3 点である。

(1) 今年度の現時点での状況について

今年度の N 連の採択、契約締結については、ほぼ決定してきている時期であることから、外務省側より今年度の申請、採択の状況（件数、契約金額など）についてご報告いただきたい。その上で、今年度の実施において、よかった点や問題、反省点、課題、次年度への参考になる点などについて共有いただきたい。

(2) 来年度の実施要領の改正について

来年度の実施要領について、すでに 4 月 4 日に来年度の N 連実施要領のオンライン説明会が計画されていますが、今年度の改定のポイントについてご説明いただくとともに、今回の改定にあたって課題と考えられる点や来年度に向けた検討課題などについての意見交換を行いたい。

(3) 来年度の実施について

今年度の実施状況を踏まえ、来年度の N 連の実施について、変更や改善のポイント、検討課題などについて外務省としての方針についてお聞かせいただき、意見交換、議論を行いたい。特に、確保される予算に対して増加している申請数や予算額、また、各案件の質の担保や N 連への多様な団体の参加という側面から、今後の N 連がどうあるべきかについて、率直な意見交換を行いたい。

また、N 連の案件申請、事業実施や報告の際に、例えば、建築物の設計などで、外部審査機関を含めて、外務省側と NGO 側において、見解が異なりその確認に時間を要するケースは少なくない。避けられる時間の浪費は事業の効率化や外務省側、NGO 側双方にとって業務遂行への影響は必ずしも少なくない。このような状況の改善に

向けて、外部審査機関を含めて、この課題の解決方法を検討するため、別途協議する場を持つことを提案したい。

4 出席を希望する外務省部局または担当者

外務省 NGO 協力推進室 岩上室長、

以上